

D-2 道徳判断の発達段階に関する研究 I—その2

日本女大家政 ○望月登志子 宇川和子 石井富美子 北川はるみ

結果及び考察 I. 年齢と道徳判断の発達 道徳判断の成熟度を示す得点は、男、女

	4才	5才	6才
男児	21.0(画)	23.1	26.0
女児	22.2	26.7	26.5
計	21.9	23.9	26.2

とも、年齢と共にほぼ上昇する傾向を表し、更に各年齢に於て女児の方が男児よりも高得点となっている。この点は、従来の研究結果と一致している。

II. 5才児の道徳判断と他の要因との関係

年齢要因を統制する為、5才児の女の高得点群と低得点群の比較検討をする。

諸項目 H, L	子 供								母 親				母-子 相関		
	年齢	得点合計	6側面の得点						IQ	長子, 1子	得点合計	例話A		例話B	例話D
			1	2	3	4	5	6							
高群(H) (N=7)	5:7	26.6 (***)	5.71	5.14	4.00	3.85	5.14	2.71	130.0	28.5%	357.6 (*)	335.0	362.5	375.4	r=0.53**
低群(L) (N=6)	5:7	20.8	5.66	4.67	0.66	2.33	4.66	3.00	116.2	66.7%	314.4	326.8	297.7	318.4	r=0.33

1) 子供の高得点群は、道徳判断の総得点に於て低得点群より有意に高い ( $P < 0.005$ ) の女児らぞ、判断の基準となる6側面中5側面(特に3, 4)に於ても一貫して高い道徳判断を示している。暦年齢の等しい両群のこの得点差は、高群に於るIQの優位、長子・1子の少なさに関連があると推定される。2) 両群の子供の母親について見ると、高群の子供の母親は、低群の母親に比べて、道徳判断の総得点及び、3例話統てに於て高得点を示している ( $P < 0.1$  有意)。3) そこで、子供と母親の道徳判断の成熟度の関連を、相関係数で表わすと、高群は  $r = 0.53$  ( $P < 0.05$ ) で、両者の間に深い関連を見出す事が出来た。低群の子供と母親の間の相関は  $r = 0.33$  で、深い関連を見出す事は出来なかつた。